

秋田港を利用したロシア・極東地域向けトライアル輸送の実施について

秋田県商業貿易課

平成26年7月31日に、東洋ゴム工業の仙台工場で製造されたタイヤのロシア極東向けの輸送を実施しました。

東洋ゴム工業は現在、仙台港から釜山港経由で約15日かけてロシア極東に輸出していますが、今回の試験輸送では、秋田港から3日でウラジオストクに入港し、大幅なリードタイムの短縮を実証することができました。直行航路を活用した試験輸送が実現したところであり、結果はリードタイムの大幅な短縮という効果が実証されました。

この成果を踏まえて、今後も秋田港からロシア極東直行航路の開設に向け、コンテナ集荷などに取り組んでまいります。

【参考：秋田魁新報 平成26年8月1日】

秋田港からロシア極東へ

直行航路で輸送開始

東洋ゴム コスト、時間など検証

タイヤメーカー大手の東洋にウラジオストク港に到着する予定。

秋田港からロシア極東地域にタイヤを輸出する今回の試験輸送を開始した。所要日数は、従来の仙台港から太平洋回りの輸出と比べ、5分の1となる3日間を見込んでいる。輸送コストや荷役に要する時間を検証し、秋田港利用の可能性を探る。

輸出するタイヤは乗用車用約1万3千本で、40フィートコンテナ21本と20フィートコンテナ1本分。仙台工場で製造され、秋田港の国際コンテナターミナルに搬送された。この日出港したコンテナ船は、1日にロシア極東のポスターチヌイ港で荷物の一部を降ろし、3日

使用するコンテナ船は、ロシアのフェスコ社と商船三井が共同運航している。今回は富山新港から臨時で秋田港に寄港した。

東洋ゴムは現在、仙台港から韓国・釜山港経由で約15日かけてロシア極東に輸出している。東洋ゴムの河野博・タイヤ物流部長は「秋田港からロシア極東に直接輸出できれば、大幅な納期短縮が見込める。」と話した。

定期航路が確立されてほしいと話した。

前回の試験輸送は今年2月間の試験輸送は今年2月に実施。秋田港から釜山港経由の定期航路でウラジオストク港に輸送したが、釜山港での積み替えに手間取り、時間を短縮できなかった。

秋田港からロシア極東に直行する航路の利便性が評価されれば、直行航路へのニーズは「層高まる」と期待を寄せた。

県商業貿易課は、ロシア極東地域に直行する定期航路の開設には、2013換算で年間千本以上の輸出コンテナの確保が必要とみている。県による秋田港とロシア極東の2013年のコンテナ貨物輸送量は(速報値)はコンテナ75万本(2013換算)だった。

秋田港とロシア極東の2013年のコンテナ貨物輸送量は(速報値)はコンテナ75万本(2013換算)だった。



新潟県内港の最近の状況

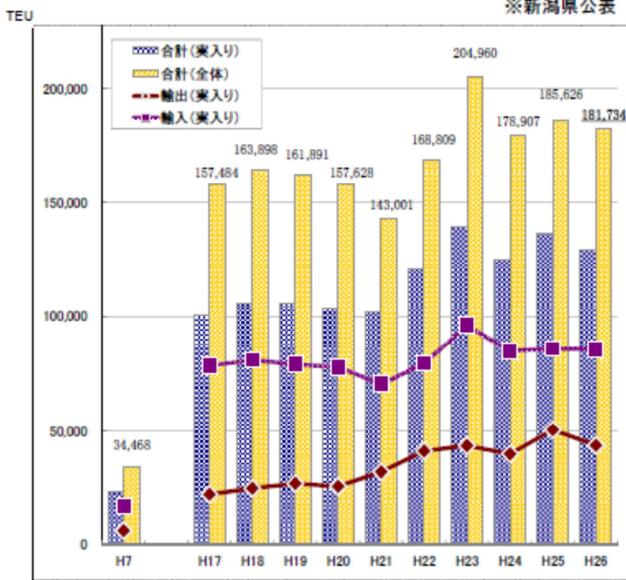
平成27年5月 新潟県交通政策局港湾振興課

1. 新潟県内港のコンテナ貨物取扱量

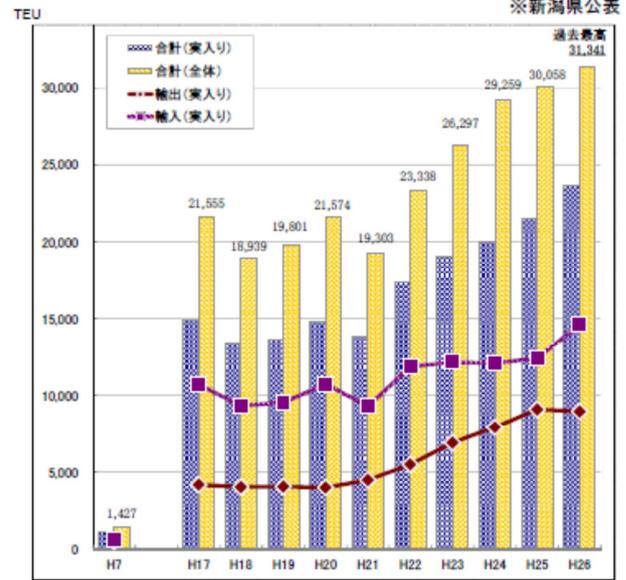
【新潟港】総数で18万TEUを超え、過去3番目の取扱量を記録

【直江津港】総数で3万TEUを超え、5年連続で過去最高を記録

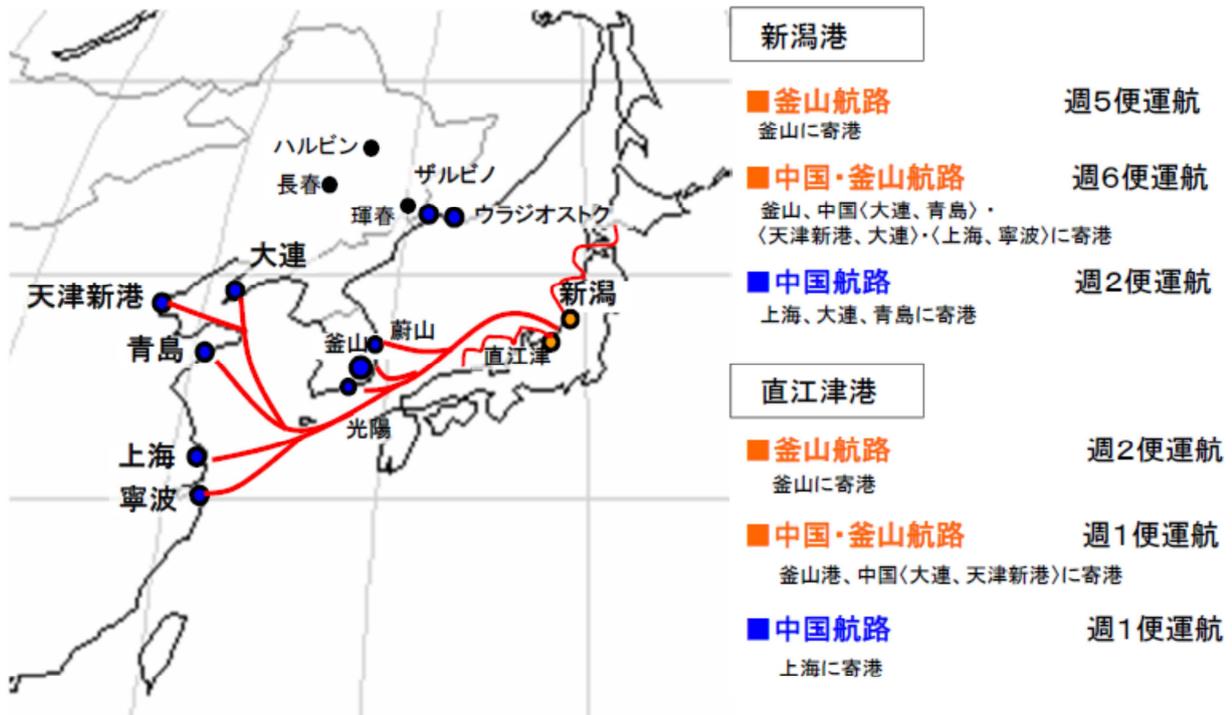
■ 新潟港のコンテナ取扱量の推移(速報値)



■ 直江津港のコンテナ取扱量の推移(速報値)



2. 新潟県内港の外貿定期コンテナ航路



(平成27年4月現在)

3. 日本海横断航路

◎新潟港とロシア・ザルビノ港、ウラジオストク港を直接結ぶフェリー航路

- ⇒現在利用できる輸送ルートと比べて輸送時間を短縮併せてコストの縮減を実現
- ⇒中国東北部・ロシア極東との物流・人流を拡大し新潟県の拠点性向上を目指す

【航路のイメージ】



◇中国東北部と新潟とのリードタイム

(2010年新潟県輸送社会実験結果)

【現在の物流ルート】

長春→大連港→新潟
【大連経由】9日



【新たなルート】

長春→ザルビノ→新潟
【ザルビノ経由】4日

5日短縮

◇新潟～ロシア極東：

現在の定期コンテナ航路との比較

【現在の物流ルート】

新潟→ウラジオストク
【釜山経由】7～14日



【新たな航路】

新潟→ウラジオストク
【直航】2日

5～12日短縮

国内外の関係者と協力して航路を取り巻く課題解決、貨物・旅客の確保に取り組み、航路の安定・定期運航につなげる

課題

【船舶の確保】

航路の運航に適した仕様の船舶を調達し、航路の定時性を確保

【貨物・旅客の確保】

航路の収支を黒字化するのに必要となる貨物量・旅客数の確保

【円滑な輸送環境の確立】

ロシアを通過する際の円滑な通関、出入国審査
新潟港の着岸場所の選定(当面は西港中央埠頭を想定)

取組方針

【船舶の確保】

フェリーを確保するための出資金を今年度当初予算に計上

【貨物・旅客の確保】

企業訪問、旅行代理店との連携
中国ハルビン市・長春市のビジネス連絡拠点の活用

【円滑な輸送環境の確立】

吉林省等との個別協議により関係国と連携